

「北山ガイドボランティア次世代養成講座」

北山市民センター

1 事業概要

北山地区には、伊達家ゆかりの寺院や史跡が数多く存在しています。平成21年に北山市民センターの講座から発足した「北山ガイドボランティア」は、北山五山をはじめとする北山地区の史跡見学のガイドを通し、多くの人たちにその歴史や魅力を伝え続けてきました。



北山五山史跡めぐり案内ちらし



北山ガイドボランティア

しかし、メンバーの高齢化に伴い、後進を育成する必要性が高まってきたことを受け、当センターでは、平成30年にガイドボランティア養成講座を開催。数名の新人ボランティアが誕生しました。

養成講座終了後も、当時の新人ガイドは継続的に先輩ガイドによるフォローアップ研修等を通して勉強を重ねています。そして観光客向けや、市民センターの講座でガイドを務めるなど、学びの成果を発揮しています。

2 今年度の活動

令和3年度はガイドボランティア教本『仙台藩の埋もれた遺臣たち』の改訂版発行に向け、現地調査や原稿執筆、編集作業を行いました。ガイドボランティア会員が5つのグループに分かれ、5つのお寺ごとに分担を決めて取り組みました。

また、通町小学校5年生を対象とした「わたしのまちの歴史探検」や、柏木・北山周辺地域住民を対象とした「地域の方のためのまち探検」（柏木市民センターとの連携講座）など、北山・柏木の両市民センターで講師を務めました。



通町小学校5年生まち探検の様子

3 成果と課題

平成30年度の初心者向け養成講座修了生の中から新人ガイドが数名誕生しました。それ以降も、年9回の定例会時のフォローアップ研修を受け、市民センターの講座でもガイドをするようになりました。参加者からは「北山五山の歴史について知ることが出来て良かった」と喜びの声が寄せられ、やりがいに繋がっているようです。

メンバーの高齢化に伴う今後の担い手育成が課題となっており、来年度以降の養成講座について検討を進めているところです。



「地域の方のためのまち探検」の様子

4 今後の展望

令和3年度に編集したガイドボランティア教本『仙台藩の埋もれた遺臣たち』は、令和4年2月に発行を予定しています。

今後も、子どもから大人までの幅広い世代に北山地区の史跡を知ってもらうためのガイド活動や、後進を担うガイドボランティアの育成を行っていきます。



ガイドボランティア教本改訂版発行に向けての現地調査